

遠藤 真理

Mari Endo (Cello)

遠藤真理オフィシャル・ホームページ <http://endomari.com>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

2003年第72回日本音楽コンクールで第1位、2006年「プラハの春」国際コンクールにて第3位(1位なし)、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクールにて第2位。

神奈川県出身。東京芸術大学を首席で卒業。臼井洋治、河野文昭、山崎伸子、藤森亮一、クレメンス・ハーゲンの各氏に師事。2007年ザルツブルクのモーツァルテウム音楽大学マギスター課程を満場一致の最高点で卒業。同年神奈川県より文化賞未来賞を、2009年12月には齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞した。

2006年9月にリサイタルデビュー。これまでにアンサンブル金沢、新日本フィル、東京シティフィル、東京都響、東京フィル、東響、神奈川フィル、札幌響、山形響、名古屋フィル、日本センチュリー、九州響など国内主要オーケストラに招かれ、小林研一郎、井上道義、飯森範親、山田和樹、ゲルハルト・ボッセ、ジャン・ピエール・ヴァレーズ、ルドヴィーク・モルローなど国内外で活躍する指揮者と共演。ドイツ・キームガウ春の音楽祭、神戸国際芸術祭では世界で活躍中の若手奏者を集めたアンサンブル・ラロと、ザルツブルグにてザルツブルク・ゾリステンとも共演するなど、室内楽奏者としても活躍中。またウィーン室内管、プラハ響とも共演し、国内外のアーティストから高い評価を得る。

2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」の「龍馬伝紀行」(第三部)での音楽演奏を担当。同曲が収録された「Cello Melodies 龍馬伝紀行Ⅲ」をはじめ3枚のソロ・アルバムと、川久保賜紀(ヴァイオリン)、三浦友理枝(ピアノ)とのトリオ・アルバム「RAVEL」、そして2018年7月には読売日本交響楽団(指揮:小林研一郎)とのドヴォルザーク:チェロ協奏曲のCDがエイベックス・クラシックスよりリリースされている。ソリストとして活動しながら2017年4月より読売日本交響楽団のソロ・チェロ奏者にも就任。

2012年4月より8年を迎えたNHK-FMのクラシック音楽番組「きらクラ！」(毎週日曜日/全国放送)のパーソナリティを務めるなど活動の幅を広げ、その朗らかな語り口で、子供向けのコンサートにも力を注いでいる。

オフィシャル・ホームページ <http://endomari.com>

(2019年4月現在 857文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

遠藤 真理 Mari Endo (Cello)

遠藤真理オフィシャル・ホームページ <http://endomari.com>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「プラハの春」国際コンクール第3位(1位なし)、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。2009年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

2007年ザルツブルクのモーツァルテウム音楽大学マギスター課程を満場一致の最高点で卒業。アンサンブル金沢、大阪フィル、札幌響、読売日響、都響など国内主要オーケストラに招かれ、小林研一郎、故ゲルハルト・ボッセなど著名指揮者と、またウィーン室内管、プラハ響、ザルツブルク・ゾリステンらと共演するなど、国内外で高い評価を得る。2017年4月より読売日本交響楽団のソロ・チェロ奏者にも就任。

NHK大河ドラマ「龍馬伝」紀行(第三部)で音楽を担当。同曲が収録された「Cello Melodies 龍馬伝紀行Ⅲ」をはじめ3枚のソロ・アルバムと、川久保賜紀(ヴァイオリン)、三浦友理枝(ピアノ)とのトリオ・アルバム「RAVEL」、そして2018年7月には読売日本交響楽団(指揮:小林研一郎)とのドヴォルザーク:チェロ協奏曲のCDがエイベックス・クラシックスよりリリースされている。

NHK-FMのクラシック音楽番組「きらクラ！」(毎週日曜日/全国放送)のパーソナリティも8年目を迎え、朗らかな語り口のトークも好評を博している。

オフィシャル・ホームページ <http://endomari.com>

(2019年4月現在 518文字)

遠藤 真理 Mari Endo (Cello)

遠藤真理オフィシャル・ホームページ <http://endomari.com>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「プラハの春」国際コンクール第3位(1位なし)、08年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。

ジャン・ピエール・ヴァレーズ、山田和樹など国際的に活躍する指揮者やウィーン室内管、プラハ響と共演するなど国内外で高い評価を得ている。

ソリストとしてだけでなく読売日響のソロ・チェロ奏者も務める。NHK大河ドラマ「龍馬伝」紀行の音楽(第3部)、NHK-FM「きらクラ！」(毎週日曜日/全国放送)のパーソナリティも8年目を迎えるなど幅広く活躍中。

オフィシャル・ホームページ <http://endomari.com>

(2019年現在 244文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

Mari Endo (Cello)

<http://endomari.com>

Mari Endo was born in Kanagawa and began her first lesson of cello at the age of 3.

She graduated from Tokyo National University of Fine Arts and Music at the top of her class. While a student she was awarded the Fukushima Prize, the Ataka Prize, and the Arkansas Prize.

She won both First Prize and the Tokunaga Prize at the 72nd Annual Japan Music Competition in 2003, the Third prize at the Prague Spring International Music Competition in 2007 (without First prize winner) and the 2nd prize at the Enrico Mainardi competition in 2008. She also received Hideo Saito memorial fund award in 2009.

From 1998 to 2000, Endo participated in Saito Kinen Chamber Music Study Group for Young People. In 2000, she performed a concerto with Seiji Ozawa at the same group. From 2001 Endo participated in the opera project of the Seiji Ozawa Ongaku-juku, as well as in the Saito Kinen Orchestra in 2002.

She studied with Philippe Muller at Académie de musique française de Kyoto.

She studied with Clemens Hagen at Salzburg's Mozarteum University from 2006, and completed the master course getting a unanimous top mark in 2007. Endo has also received instruction from Hiroshi Usui, Fumiaki Kono, Nobuko Yamazaki, and Ryoichi Fujimori. In September 2006, she gave her first full recital at Kioi Hall in Tokyo followed with another at Aobadai Philia Hall. Apart from recitals and chamber music concerts throughout Japan, Endo has been invited to perform with such orchestras as Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra, Tokyo Philharmonic Orchestra, Tokyo Symphony Orchestra, New Japan Philharmonic, Orchestra Ensemble Kanazawa, Osaka Philharmonic Orchestra, Kanagawa Philharmonic Orchestra, Sapporo Symphony Orchestra, Nagoya Philharmonic Orchestra, Yamagata Symphony Orchestra and so on. Among the conductors she has worked with are Masahiko Enkoji, Shigeo Genda, Ken-ichiro Kobayashi, Michiyoshi Inoue, Seikyo Kim, Chosei Komatsu, Gerhart Bosse, Jean-Pierre Wallez, and Ludovic Morlot.

In 2007 she toured with Orchestra Ensemble Kanazawa in Japan and participated in Tokyo Performing Arts Festival. Furthermore her performances with the Vienna Chamber Orchestra and Prague Symphony Orchestra in 2009/2010 season expanded the range of her activities. Endo has released 3 solo CDs including 'Cello Melodies' and trio album 'RAVEL' with Tamaki Kawakubo (Vn.) and Yurie Miura (Pf.) from Avex-classics.

(April 2019)

2019/20 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092